

平成 27 年 6 月 23 日

海事局 総務課 海事振興企画室

担当：杉山、池田

Tel: 03-5253-8946(直通)

03-5253-8111(内線 43-214, 43-215,43-216)

Fax: 03-5253-1642

第 5 回海洋観光・海を身近に懇談会の開催報告

標記懇談会を下記のとおり開催しましたので、その概要をお知らせ致します。

1. 日時 平成 27 年 6 月 22 日 (月) 12:30~15:00
2. 場所 浅草文化観光センター
3. 出席者 別紙参照
4. 懇談会の内容



今回、身近なクルーズとして楽しむことができる観光船の魅力等を題材として、新たな海の魅力に迫るべく、東京観光のメッカで様々な船が行き交う隅田川沿いに位置する「浅草」で開催致しました。

- ① 懇談会に先立ち、日の出桟橋から浅草に就航している「ホタルナ」において、体験乗船を実施しました。

漫画家の松本零士氏にプロデュースされた「ホタルナ」は、独特の宇宙船のような流線型のユニークな船型と、ガラスを多用した開放的な雰囲気が、多くの方々を魅了し、船内からは、江戸から東京へと変遷してきた歴史の流れが感じられ、隅田川にかかる 12 の個性的な橋や徐々に近づく東京スカイツリー等、移りゆく東京の景色を水面から味わいました。

- ② 懇談会については、東京都観光汽船(株)の守谷委員から、「東京湾内における観光船でのミニクルーズの魅力とみどころ」と題して、水上交通事業者としての取組等について講演、また、旅行情報誌を手懸ける(株)JTBパブリッシングの楓委員から、「船旅の魅力の情報発信方法」についてそれぞれ講演いただきました。

その後の意見交換では、「水面からの景色は、視点が違い面白く魅力があるが、乗客の大半が観光客となっているので、地元の方にも普段と違う景色を感じて欲しい。」「噴水ショーや、流行のプロジェクトンマッピング等を用いた新しいイベントも、人々を水辺に集めるきっかけになる。」、「2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックで、水上交通を世界にアピールするためにも、船着き場の整備やアクセス環境の改善、他の交通機関との連携等を考えていく必要がある。」等の意見が出され活発な意見交換が行われました。

本懇談会の概要は、後日、海事局のホームページで公開予定です。

http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk1_000051.html

写真や動画は、海洋観光・海を身近に懇談会 [facebook](#) で公開中！！

<https://www.facebook.com/umiwomidikanikonndannkai>

第5回海洋観光・海を身近に懇談会出席者

(委員)

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| ◎ 東洋大学国際地域学部国際観光学科准教授 | 矢ヶ崎 紀子 |
| ・ (株) JTB パブリッシング 取締役 | 楓 千里 |
| ・ (株) 舵社 常務取締役 | 田久保 雅己 |
| ・ きずなクリエイション
にいがた観光カリスマ フリーバスガイド | なぐも 友美 |
| ・ 瀬戸内海汽船(株) 代表取締役社長 | 仁田 一郎 |
| ・ (一財) 漁港漁場漁村総合研究所第一調査研究部次長 | 林 浩志 |
| ・ 明治大学経営学部教授 | 星野 敏男 |
| ・ 東京都観光汽船(株) 代表取締役 | 守谷 慎一郎 |

(その他)

- | | |
|-----------------------|-------|
| ・ 国土交通省海事局次長 | 櫻井 俊樹 |
| ・ 国土交通省海事局総務課海事振興企画室長 | 千葉 政俊 |
| ・ 国土交通省海事局船舶産業課舟艇室長 | 金子 純蔵 |

※「◎」は座長